

事務事業名	健康教育事業		所属部局	保健福祉部		単位番号	5204					
			所属課室	健康増進課		課長名	深澤 秀					
			所属担当	健康づくり担当		担当者名	金丸淳子					
基本政策	基本計画体系	IV	快適で心のかよいあう都市づくり		予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
		18	健康づくりの推進			01	一般	04	01	04	020	11
政策		31	保健・医療の推進		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H22 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		法令根拠		健康増進法							
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 内臓脂肪型肥満(メタボリックシンドローム)の概念に基づき、生活習慣病の有病者・予備群を減少させる事を目的に、生活習慣の改善に向けた行動変容を支援するため健康教室を実施する。Ⅰ総合健診結果説明会からメタボリックシンドロームと判定された方に対し個別で教室受講を勧奨し、希望者に対し、前期・後期で計3教室を実施する。Ⅱ人間ドック受診の国保加入者にも同様な教室の勧奨を行い、希望者に対して1コース実施。<内容>・減量に向けた意識付け強化を目的に腹部CT検査を実施する。・教室は、個別と集団指導 Ⅲ新たな課題を克服(低血糖)に対して腎臓病教室を継続				事業費の主な内訳 (26年度 決算見込) 項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円) その他賃金 80 委託料 217 報償費 40 消耗品費 30 賄材料費 6 通信運搬費 36 計 409							

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	
26年度活動内容	人間ドック受診者対象教室(健康ボディ・腎臓病)・直営3教室(前期1月開始)・(後期1月開始)前年度のフォロー教室(直営2教室)・腎臓
27年度活動予定	人間ドック受診者対象教室(健康ボディ・腎臓病)・直営3教室(前期1月開始)・(後期1月開始)前年度のフォロー教室(直営2教室)・腎臓
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
総合健診を受診した30歳以上69歳未満のメタボリックシンドロームと判定された市民。腎機能の低下の可能性のある市民。	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	
対象者が自らの健康状態を自覚し、生活習慣の改善のために自主的な取り組みができるようになり、メタボリックシンドロームが解消・改善できる。疾病予防、生活習慣病予防のための行動が取れる。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
生活習慣病の発症や重症化を防ぎ、医療費を抑制する。また、要介護者の発症を防ぐ。	

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア実施回数	回
イ参加者数(実)	人
ウ参加者数(延べ)	人
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア対象人数(教室勧奨者数)	人
イ	
ウ	
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア教室終了時の減量者の割合	%
イ	
ウ	
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
アメタボリックシンドローム該当者・予備群の減少	人
イ	

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	
事業費	内訳	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円	196	175	191	502	502	502	
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	267	199	218	261	261	261	
		事業費計(A)	千円	463	374	409	763	763	763	0
人件費	コスト	正規職員従事人数	人	7	8	9	8	8	8	
		延べ業務時間	時間	750	680	836	750	750	750	
		人件費計(B)	千円	3,413	3,095	3,805	3,413	3,413	3,413	0
		(A)+(B)	千円	3,876	3,469	4,214	4,176	4,176	4,176	0
活動指標	ア	回		28.0	27.0	32.0	30.0	30.0	30.0	
		イ	人	95.0	87.0	110.0	150.0	150.0	150.0	
		ウ	人	312.0	233.0	335.0	650.0	650.0	650.0	
対象指標	ア	人		630.0	500.0	633.0	450.0	450.0	450.0	
		イ								
		ウ								
成果指標	ア	%		75.0	88.0	75.0	75.0	75.0	75.0	
		イ								
		ウ								
上位成果指標	ア	人		1,600.0	1,600.0	1,600.0	1,600.0	1,600.0	1,600.0	
		イ								

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	合併前から老人保健法に基づき各町村で実施したものを、H14年度健康増進法が制定されてからは重点的な健康教育の実施が必要とされている。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	生活習慣病が急激に増加したことで、H20年度から特定健診・特定保健指導が義務化されてきた。5年間でメタボを10%減少させる数値目標が国より示されている。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	H23年度新たに人間ドック受診者へのメタボ教室の開催の企画したところ、反響が大きく市民の方の関心の高さがうかがえた。全般的にも参加者の満足度は高い。また、自分にあった減量や運動の方法を知りたいといった意

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	合併直後はすべて直営で実施していたが、H19から運動教室を委託したが、生活支援全般の指導が行き届かず、H22年度には健診委託医療機関に全面委託したが、委託先の事情で継続できずH23年度は直営の教室を5コース実施。前年度の教室を評価、修正しながら実施しており、平成25年度から、教室数を見直して実施し
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	メタボに取り組む動機付けが、さらにしっかりつこう指導資料などの改善を行った。また腎臓病教室においては、対象を人間ドック受診者まで広げて取り組んだ。

事務事業名	健康教育事業	所属部	保健福祉部	所属課	健康増進課
-------	--------	-----	-------	-----	-------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 教室参加者の約8割が減量し、減量者は事後の血液検査値も改善傾向。多くの参加者に生活改善が見られ、体重測定の実績等行動変容に結びついている。健康的な生活習慣の定着・継続化により、生活習慣病の有病者・予備群を減少させる。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 生活習慣病予防の観点からハイリスク者へのアプローチは必要である。現在のところ、有効的な委託ができる事業者がなく市での実施となっている。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 内臓脂肪のメカニズムからいって、長期にわたる取り組みが必要となる。参加者の7~8割が、何らかの成果を得ている。そのため事業の継続は望ましい。ただ最近参加希望者が減少傾向。行動変容が期待できる教室ではあるので、PR方法や実施内容の検討が必要ではある状況。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をすることで、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 教室の内容、教材、評価方法、PR方法など、改善する余地あり。またPR方法も考えていく必要あり。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 ハイリスク者への支援ができず、生活習慣病の有病者と予備群を増加させてしまう。参加者の多くが減量に成功し、健康的な生活習慣を獲得できている。また、毎年新たな対象者が参加しているため休止することはできない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 希望者数によって、教室回数を調整できるため、場合によって可能だが、人間ドック受診者の腎臓病教室を新たに実施する方向。コスト削減にはつながらないが、今後も削減を探る。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 参加人数によってはスタッフの人数や時間を変えるなどしている。今後とも改善の検討は必要と思われる。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 健診の結果を用いての教室運営のため、偏ってはいないが、評価のための血液検査は、参加者のみのため、この点については、今後考える余地あり。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	メタボや腎臓病の対応する教室の実施により生活習慣病からの脱却を目指す事業

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 教室の受診者の増を考えて行く必要がある。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 受診しやすい環境の整備をする。	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	成果優先度評価結果 ⑧																					
	コスト削減優先度評価結果 ⑥																					